

2020.02.17

卒業時満足度調査（令和元年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部）



令和元年度卒業時満足度調査の結果を報告します。今年度は卒業生のほぼ全員から回答が得られました。

1. アンケートの実施

実施時期	令和2年1月末から2月13日	
対象者	令和元年度卒業生（2016年入学生および過年度生）	国際教養学部 50名 教育学部 32名
回答者	国際教養学部 50名、教育学部 30名	
方法	<p>下記の6つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問1～4については、学生は、5（大変満足している）から1（まったく満足していない）までの5段階で評価を行った。 ・ 質問5については、9つの選択肢を複数回答で選んだ。 ・ 質問6については、自由記述で回答した。 	

アンケートの内容											
質問1	「本学の教育について、満足していますか。」										
質問2	「学友との出会いに満足していますか。」										
質問3	「学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。」										
質問4	「就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか。」										
質問5	<p>「以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 理論的な思考力</td> <td style="width: 50%;">6 考え方の柔軟性</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニケーション力</td> <td>7 多文化・異文化理解</td> </tr> <tr> <td>3 物事を多角的・多面的に考える視野</td> <td>8 自ら課題を立てて、解決する力</td> </tr> <tr> <td>4 教養・知識</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>5 専門的な知識と技術</td> <td></td> </tr> </table>	1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性	2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解	3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力	4 教養・知識	9 その他	5 専門的な知識と技術	
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性										
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解										
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力										
4 教養・知識	9 その他										
5 専門的な知識と技術											
質問6	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。										

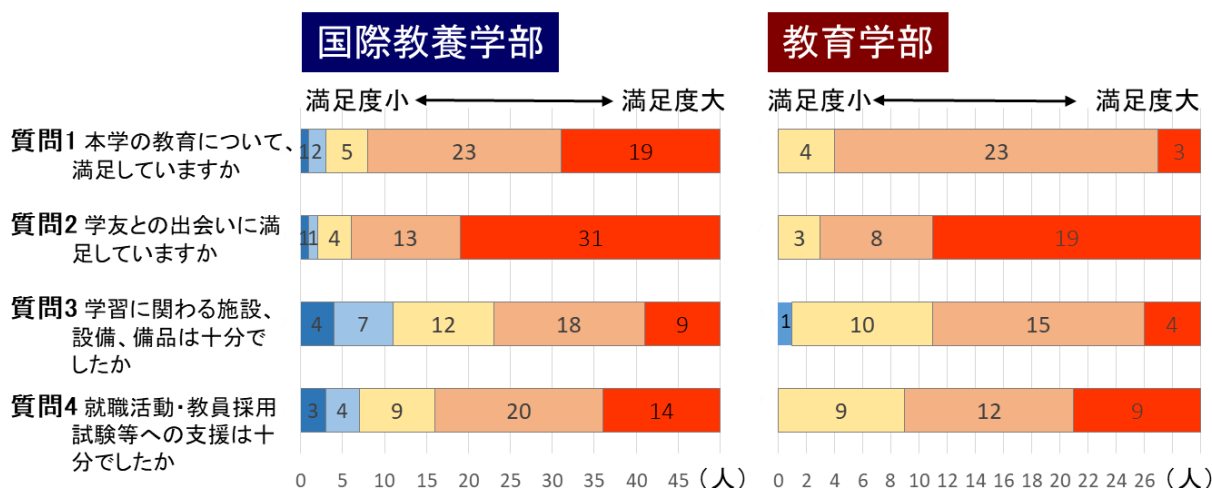
2. 集計結果

2.1 質問1～4の解析

回答	学部	評価点分布						
		1	2	3	4	5	平均値	全体平均
質問1	国際教養学部	1	2	5	23	19	4.14	4.08
	教育学部	0	0	4	23	3	3.97	
質問2	国際教養学部	1	1	4	13	31	4.44	4.48
	教育学部	0	0	3	8	19	4.53	
質問3	国際教養学部	4	7	12	18	9	3.42	3.54
	教育学部	0	1	10	15	4	3.73	
質問4	国際教養学部	3	4	9	20	14	3.76	3.85
	教育学部	0	0	9	12	9	4.00	

各質問への回答の分析結果を示す。

- ・ 質問 1 は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で 4.08 の高い評価を示している。
- ・ 質問 2 の学友関係についても、全学平均で 4.48 の高い評価を示している。
- ・ 一方で、質問 3 「施設・設備」の評価は、全学平均で 3.54 と高くない。しかし、2018 年に比べて 3.15 から 0.39 ポイント増加しており、年々改善されてきていることが分かる。
- ・ 質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で 4.00、国際教養学部で 3.76 であり、教育学部の方が高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。



次に、全学平均値を昨年度（2018 年度）と比較を行った。質問 1 は昨年と変化なく、質問 2～3 は昨年度より高い満足度となっている。一方で、質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、昨年度の評価 4.00 から 0.15 ポイント低下している。さらなる支援が必要なことを示している。

回答	年度	評価点分布（国際教養学部、教育学部）					平均値
		1	2	3	4	5	
質問 1	2018 年度	0	6	8	37	26	4.08
	2019 年度	1	2	9	46	22	4.08
質問 2	2018 年度	0	8	6	15	49	4.35
	2019 年度	1	1	7	21	50	4.48
質問 3	2018 年度	3	18	26	26	5	3.15
	2019 年度	4	8	22	33	13	3.54
質問 4	2018 年度	2	5	17	21	33	4.00
	2019 年度	3	4	18	32	23	3.85



2.2 質問5の解析

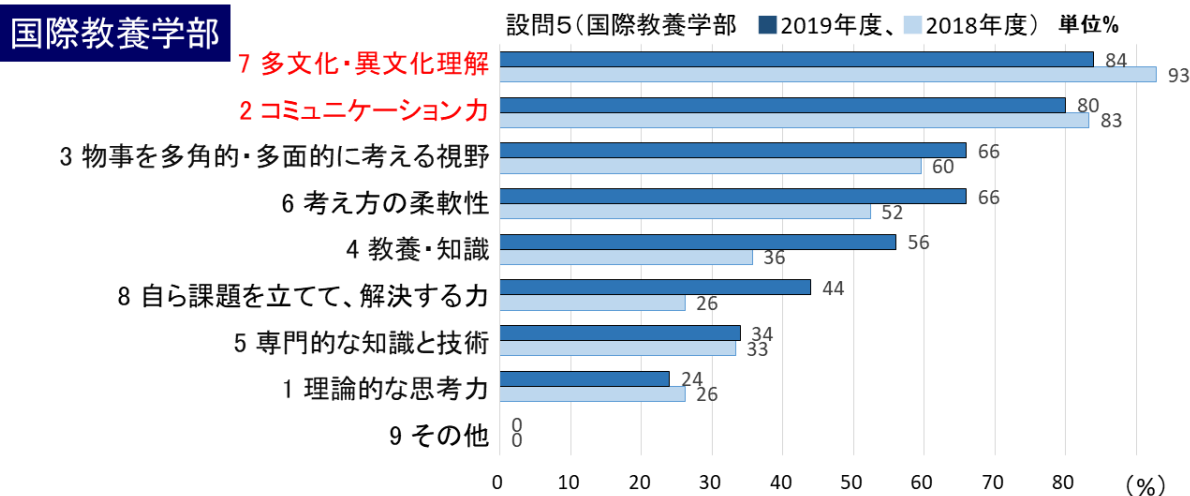
質問5 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）

1 理論的な思考力、2 コミュニケーション力、3 物事を多角的・多面的に考える視野
 4 教養・知識、5 専門的な知識と技術、6 考え方の柔軟性、7 多文化・異文化理解
 8 自ら課題を立てて、解決する力、9 その他

回答	学部	選択項目								
	2019年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	国際教養学部	22	40	33	28	12	33	42	17	0
	教育学部	5	21	17	15	17	15	3	9	1

下記グラフにおいて、本年度の結果を昨年度（2018）と比較して百分率で表す。

- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解」が84%の学生が一番身についたと答えており、次に「2 コミュニケーション力（80%）」「3 物事を多角的・多面的に考える視野（66%）」「6 考え方の柔軟性（66%）」が続いている。
- ・ 一方で、「1 理論的な思考力」「5 専門的な知識と技術」がそれぞれ24%、34%と低くなっている。
- ・ 今年度の結果を昨年度（2018）と比較を行った。「7 多文化・異文化理解」および「2 コミュニケーション力」が高い傾向は、昨年度と同じであるが、その割合が2019年度で低くなり、他の素養が増加している。

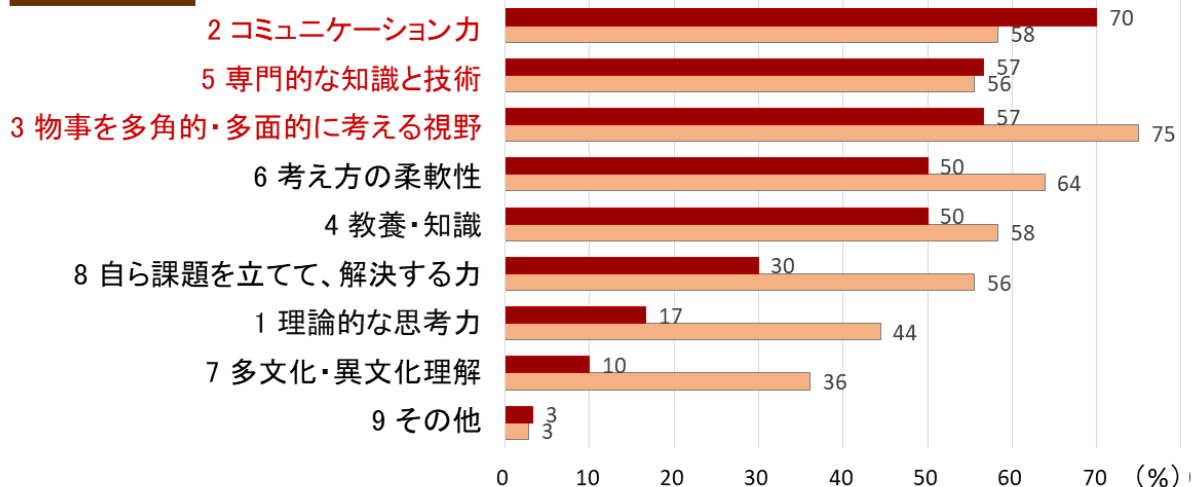


- ・ 教育学部では、「2 コミュニケーション力」が一番身についたと70%の学生が答えており、次に「5 専門的な知識と技術（57%）」「3 物事を多角的・多面的に考える視野（57%）」が続いており、国際教養学部の傾向とは大きく異なっている。
- ・ 一方で、「7 多文化・異文化理解」「1 理論的な思考力」がそれぞれ10%、17%と低くなっている。
- ・ 2018年度の結果と比較すると、2018年度は「3 物事を多角的・多面的に考える視野」および「6 考え方の柔軟性」が1番目、2番目に身についたと回答していたが、2019年度は3番目、4番目になっている。つまり、学生が一番、本学で身についたと感じている素養は、2018年

度の「3 物事を多角的・多面的に考える視野」から 2019 年度は「2 コミュニケーション力」に変化している。

教育学部

設問5(教育学部 2019年度、2018年度) 単位%



その他 (2019 年、1 名) = 自分の困難だと感じる課題に対して自分や周りの人と相談すること

2.3 質問 6 の回答

回答	
国際教養学部 (満足したこと)	<ul style="list-style-type: none"> 人数が少ない分、先生や他の友達と接する時間が長く、とても良かった。海外研修も含め成長できる所だと思います 沢山の外国人の先生方のもとで学ぶことができた事はとても良かったです 先生に質問しやすく勉強意欲や向上心を常に保てる環境 設備はともかく、学ぶ環境が良いところでした。先生方の大多数が外国からの先生方で、英語を話さなければならない環境だからこそ、学生のスキルアップに直接つながっていると感じました 学生一人一人の面倒をみてくれる手厚い指導でした
(要望)	<ul style="list-style-type: none"> Small group of classes • Thank you so much!! • 友達 先生方が本当に生徒のことを考えていてくださって大変ありがたい授業を受けることができました。インターネットの回線や、パソコンがもっと充実しないと学習しづらいので、改善していただきたいです ロッカーよりもウォータークーラーが個人的にはあった方がいいと感じた カウンセリング制度 職員同士の交流会のようなものがあつた方が日本人と海外の先生との連携も円滑になるのではないのでしょうか 使えないパソコンや印刷機の紙やインクが足りてない事が多く、レポートを何度か印刷できずに困った事が多々あった 駐車場を増やして欲しい ノートパソコンの増設やロッカーの増設よりも先生の筆記体が読めない。ゼミを作るべき。卒論の制作に戸惑いや不安でなかなか進まなかった。卒論のアドバイス内容がチューターによって違う為きちんと統一してほしい
教育学部	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の存在が近いことでちょっとした悩みも相談できた、大学が小さいからこそ人とのつながりがより親密で他学年とも仲良くなれた